

高知県は全体の 92%が中山間地域です。そして限界集落もどんどん増えてきています。こういう地域をいかに元気にしていくのか、いかにその地域で住み続けられるようにしていくのか、これは県政の大きな課題です。また、高知県みたいところが真っ先に人口減少と高齢化で厳しい状況に陥っていますが、いずれは日本全体もそういう状況になっていくことが予想されています。中山間地域の生活をどうやって守っていくか、中山間地域で暮らせる産業づくりをどうやっていくか、このことをずっと考えてきました。特効薬はなかなかない。これを一つやれば、全てうまくいくというものはなかなかありません。状況がものすごく厳しく、そもそも水道もない地域もあります。そういうところに簡易水道をつくることはできますが、その地域で若い方も含めて、多くの方が暮らしていける地域づくりをしていくということになりますと、大変難しい課題かと思えます。

かきせ川地域の皆様は、身の丈に合った計画づくりを進めておられて、地域の皆さんが楽しく過ごされることをまず目指していこう、またそういうところであれば、他の地域からも人がやって来るのではないかというご発想で非常に活発な取り組みをされており、高齢化率も非常に高いと伺っていますが、非常に元気で、活発に活動を展開していらっしゃるようですので、皆様からいろいろお知恵を賜りたいと思います。

先ほど見学させていただいた馬荷温泉で水を汲んでおられる方にもお会いしましたが、家に持って帰ってお風呂で入られるそうです。都会の人にしてみれば、本当の贅沢ということでしょうし、本当に素晴らしい資源だと思いました。そして七立栗（ななたてぐり）の圃場にも行かせていただきましたが、一本の木にたくさん栗がなっていて、小さい実ですけど甘味があって非常においしい。この地域でしか採れないものだそうですから、本当に貴重な、ある意味プレミアのついたものとしてどんどん育っていくようになれば素晴らしいなと思ったところです。

今高知県では全力を挙げて高知県産業振興計画の取り組みを進めており、この中でも中山間地域の暮らしを守る、そして産業をつくることが一つの大きなテーマになっています。やろうとしていることは、高知県の経済の体力をもっとつけていこうということです。高知県は、残念ながら人口が平成2年から減り始めました。若い人が県外に出ていくだけでなく、生まれてくる赤ちゃんの数より亡くなる方がはるかに多いという状況が続いて、人口がどんどん減っています。また、高齢化が進んでいるということもあります。

結果としてお金を使う人の数が少なくなり、県内の市場はだんだん小さくなってきました。平成9年のピークには、大体年間で2兆円ぐらい売っていたのが、現在は1兆6,000億円で、ピークに比べて、2割ぐらい減っている状況にあります。県内市場は小さくなっているわけですから、高知県の元気を保つために必要なことは外からお金を稼いでくる力をつけ、県外からお客さんを呼んで来て、地元でお金を使ってもらえる力をつけることだと思っています。地産地消とともに、高知県にある良いものを県外で売る地

産外商の力をつけなければならない。そのためには、まず生産地をもっと強くしていかなければなりません。より効率的にものが作れるようにしていくとか、七立栗のような、他の県に持っていったって売れるような、競争力のあるプレミアのついた、すばらしい品物をどんどん作れる産地づくりをしなければなりません。

そしてもう一つは、ものが溢れている都会で高知県のもを手にとってもらえるように、商品の磨き上げも必要になってきます。

そのためには技術開発の支援とともに、試し売りをするような場をたくさん設けて、そういう場に地域の元気な皆様からものを出していただいて、チャレンジしていただきたいと思っています。その上で更に大阪とか東京などの大きいところで、新しい市場を開いていくための取り組みを今後更に進めていくこととしています。

高知県地産外商公社を今年の8月に立ち上げ、東京のスーパー、居酒屋、レストランなどにどんどん販路を開拓していきます。地域の皆様と一緒に商談に行って、契約を取りつけてくる。そういう作業をスピードアップしてやろうとしています。

来年は大河ドラマ「龍馬伝」が放送されるので、高知県も「土佐・龍馬であい博」の準備を進めているところです。また、去年に比べて、今年は高知県とタイアップをして、いろいろ商売をやらせてもらいたいと言ってくれる県外のホテルなどが増えてきました。

高知県には素晴らしい追い風が吹いてるところです。この追い風に帆をいっぱい張って十分生かされるように、我々ももっと努力をしないといけないと思っています。少しずつチャンスが出てきてます。地域と都会を結んでいくルートを切り開いていきますので、ぜひともこれを皆さんで活用していただきたいと考えています。

生産地を強くするための支援策、更に商品を作っていくための支援策、試し売りの場を設ける、アドバイザーを派遣する、都会で販路を開拓していくための地産外商公社などの取り組み、販路開拓まで総合的にやっつけていこうとするのがこの産業振興計画です。

地域アクションプランというものも設け、県内で221の地域アクションプランを実施していくこととしています。

アクションプランは単に一時的なイベントやにぎわいづくりに止まるものではありません。補助金の審査も厳しく、しっかりと事業性を審査して、これでいけるとなったものには補助金をどんと投入して、実際にビジネスを動かし始める。こういうことで地域を元気にしていきたいと思っています。

中山間地域を元気にするための取り組みを、ここから学ばせていただき、我々の取り組みを、富士山のように裾野の広い、いろいろな問題に対応できるものにしていくべく努力していきたいと思っています。